

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

【研究課題名】 Tokyo Guidelines 2018 からみた急性胆嚢炎に対する胆嚢摘出術の検討】

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器センター外科 職位・氏名 准教授・土屋 勝

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科では、急性胆嚢炎に対してガイドラインを遵守し胆嚢炎発症後可能な限り早期に手術を行っております。ただし全身状態が不良な患者様に対しては先に経皮的胆嚢ドレナージ(PTGBD)を行い胆嚢炎が落ち着いたところで手術を行っております。PTGBD 施行後に待機的に手術を行うことで手術時間が長く、出血量が長くなるとの報告がある一方で待機的手術と早期手術に差はないとの報告もあり明確な根拠がないのが現状です。そこで急性胆嚢炎の重症度別にガイドラインに沿った治療方針と術後成績との関連があるかどうかを明らかにする事を目的として、本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、高リスクの急性胆嚢炎の治療方針の指針につながる事が期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者： 2020年1月～2022年12月までに東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科において、急性胆嚢炎に対して手術を受けた方

方 法： 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情 報： 年齢、性別、身長、体重、併存疾患の有無、疾患、手術内容、術後経過など

試 料： 術前術後血液検査結果、画像検査結果、術後合併症の有無など

【研究組織】

代表施設名： 消化器センター外科 研究代表医師： 土屋 勝 役職： 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター外科

職位・氏名 准教授・土屋 勝

電話 03-3762-4151 内線 6530